

### 同窓生の皆さん・先新農林業等 体験実習の学生受入に御協力ください。

本先進農林業者等体験学習（以下体験学習）は、学生が先進農業者・農業法人・森林組合及び農林業・関連企業等での現場体験により、実践的な先進技術、知識並びに経営感覚を習得することを目的としています。同窓生の皆様の中にも学生を实际受け入れて指導していただいている方もおり、感謝申し上げます。本年は、前期が6月13日～22日の10日間、後期が9月26日～10月5日の10日間の日程で行われました。

近年は非農家出身の学生の割合が多くなり、特に6月の体験学習においては、手際も悪く、作業効率も遅い、質問もできないなど、受入れ者の



38期生・笹原勝氏氏

皆様からお叱りを受けることも少なからずありました。しかし、そんな学生達も体験学習を通して、農林業の厳しさを自らの肌で感じながらも、農林大学校とは違った充実し



60期生・石川大和氏

た日々を送ることができ、非常に満足して学校に戻ってきます。受入れ者の皆様から技術指導のみならず、経営方法や農林業者の心得等の様々な話をお聞きすることで、体験学習終了後は、明らかに精神的に成長した様子が伺えます。また、自分の将来像が明確となり、就農意欲の向上や卒業後の進路決定に繋がるなど、学生にとって大変貴重な機会となっております。また、卒業後も人生の良き先輩として

助言や指導を受けながら交流を継続している事例も多くみられます。

しかし、近年は、受入者の選定に苦慮しているのが現状です。そこでお願ひですが、体験学習の時期には、同窓生のネットワークを活用していただいで、体験学習における学生の受入れに積極的に御協力をいただくとともに、次世代を担う農業者の育成に対する支援をよろしくお願ひします。



44期生・高橋清和氏



### 会員から

#### 親子で農業大学校卒

鶴岡市 鈴木 達大

(平成24年度卒業)

父も私も農業大学校を卒業（父：鈴木善一 昭和54年度卒業）し、一緒に農業経営を行ってまいす。我が家は、家族4人で高品質・高収量を目標に水稲12ha、きゅうり20a、トルコぎきょう10aを栽培しています。



父は、栽培中に何かトラブルがあった時や技術的にわからない時には、いつでも相談にのり、一緒に解決してくれます。私は就農して6年目になりますが、父と栽培技術や経営について意見交換やアドバイザーをもらうことで、私自身も農業経営者として確実に成長していると思ひます。父は、私にとつても頼りがいのある大きな存在です。

今後は、多くの技術や経営手法を習得し、規模拡大と毎年安定的な高品質・高収量生産を行い、地域で活躍するリーダーとなれるよう鈴木家の農業経営に励んでいきたいと思ひます。そのためにも目標としている父をいざれば越えていきたいです。

#### 就農四年目を終えて

最上町 海藤 鷹

(平成26年度卒業)

私は、農業大学校卒業後、すぐに就農しました。現在、我が家では、水稲8ha、アスパラガス20a、中玉トマト11aを栽培しており、私は、中玉トマト部門を担当しています。

農大在学中は、トマトについて卒論研究に取り組み、基本的な栽培技術・知識に加え、高品質生産や省力化等の技術を習得できたことは、現在の栽培管理や経営に役立つています。

私は、樹上で完熟させたトマトをお客様に、美味しさで感動し、恋して欲しいとの願ひを込めて「恋熟(こいじゅく)」というブランド名で山形県内の量販店を中心に販売しています。また、異業種の同世代や料理人の方々と協力して食のイベントも主催し、生産者の想いを伝え、消費者との信頼関係を深め、農業や食に興味を持っていただけるよう努力しています。

今後も、栽培技術の向上を図り、さらに美味しいトマトを生産し、より多くの人に食べていただけるよう頑張ります。

